

2020 年度 明治大学

【商 学 部】

解答時間 60分

配点 100点



り

地 理 B 問 題

はじめに、これを読むこと。

(注意事項)

1. この問題用紙は19ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 問題用紙・解答用紙が出願時に選択した科目であるかどうか確認すること。
3. 解答用紙には受験番号が印刷されているので、受験票と照合して受験番号が正しいかどうか確認すること。
4. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の所定の欄に氏名を記入すること。
5. 解答はすべて解答用紙の解答欄に記入またはマークすること。解答欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
7. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入すること。
8. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
9. 解答用紙は絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
10. 文字は一点一画まで正確に書くこと。
11. 解答用紙は持ち帰らないで、必ず提出すること。
12. この問題用紙は必ず持ちかえること。
13. 試験時間は60分である。
14. マークの記入例。

良い例	悪い例
	

〔 I 〕 次の文章を読み、設問に答えなさい。

オーストラリアは、金、天然ガスなど、様々な地下資源に恵まれている。その中でも、二大輸出資源は、鉄鉱石と石炭である。鉄鉱石の具体的な産地としては、西部のピルバラ地区の鉱山などが有名である。石炭の産地は東部のグレートディバイディング山脈の周辺が多い。北部のウェイバ近くには、 を産出する世界最大級の鉱山がある。

オーストラリアに広がる年降水量 250 mm ~ 750 mm の地域は、^{だいさんせい}大鑽井盆地をはじめとして、牧羊が盛んな地域となっている。 水は不透水層に挟まれた地下水であるが、この盆地は 水の利用例として代表的であるとされる。この地下水は、掘り抜き井戸を掘ると自噴するものが多く、ポンプなどエネルギーを必要としないので、19 世紀から内陸地域において牧羊などに広く利用された。また、19 世紀後半の の発明前は、南半球からの肉牛肥育による北半球の大消費地への肉の輸出ではなく、腐敗しないで長持ちする特性から輸出目的での羊毛の生産が広く行われていた。オーストラリアは乾燥地域が多^{a)}いので、乾燥に強く、優良な毛を多く産する種類である 種をオーストラリア向けに改良したものが中心であった。

南東部の 盆地は、それほど降水量が多くない地域であり、かつては牧羊地域であったが、ダム建設だけではなく、オーストラリアアルプス山脈の地下に水を流す導水トンネルを掘るという巨大な土木事業を含む 計画により灌漑^{かんがい}が行われ、小麦などの栽培が盛んとなり、豊富な輸出量を誇る。しかし、その生産は降水量に左右されやすく、しばしば の被害にあい、年によって小麦生産の変動が激しい。21 世紀に入ってから、オーストラリアの大きな は、2002-2003 年、2006-2007 年、2018-2019 年に発生している。北部や内陸中央部を中心とした広い地域では、牧牛業が盛んである。以前は、広さを生かして放牧して牧草を食^はませる粗放的な牧牛が多かったが、近年は、アメリカのグレートプレーンズと同様に、牛を木の柵でできた囲いの中に集めて飼い、栄養価の高い穀物飼料を与えて早く肉を肥やす による牧牛が行われているところもある。

民族的には、オーストラリアの先住民は であるが、近代にはイギリスの植民地となり、囚人の送り込みや自由移民が始まった。ゴールドラッシュをきっかけとして、中国などアジア系の移民が急増すると、20世紀には長らく、白人以外の有色人種の移民を厳しく制限し、白人中心の国家運営を目指した政策である が採用されていた。この も、1970年代後半までに廃止され、ベトナムなどからの難民の積極的な受け入れやアジアからの移民が増加して、多文化国家が目指されている。

青少年の国際交流を促進する仕組みとして、ワーキング・ホリデーの制度がある。オーストラリアは、ワーキング・ホリデー先として日本人の青年が多く利用している大変人気の国である。ワーキング・ホリデー制度とは、二国間の協定^{e)}で、青年が国際交流・休暇目的で、入国し、国内を旅行したり、長期滞在ができ、滞在期間の費用を賄うための就労を一部認める優遇された査証、入国管理制度のことである。また、受入国の多くにとっても、観光業やサービス業において安価な若い労働力の供給源となるメリットがある。

問1 空欄 ~ に当てはまる適当な地名および語句を解答欄に記入しなさい。ただし、 に関しては、具体的な鉱物名を答えなさい。 と は、漢字四文字の用語で答えなさい。, , , , は、カタカナの用語で答えなさい。

(問題は次ページに続く)

問 2 次の問いに答えなさい。

(a) 下線部 a)に関連して、オーストラリアは、産業革命期の宗主国イギリスの工業発展に対して、毛織物工業の羊毛原料供給国として、羊毛の生産と輸出を増加させていった。羊毛を輸入していたイギリスで、ペニン山脈の東側にあり、当時同国の毛織物工業の中心であった地方名を解答欄 a に記入しなさい。

(b) 次ページの図 1 の地図を参照して、以下の問いに答えなさい。オーストラリア大陸とニュージーランドの北島と南島の位置関係と距離関係は、図の中のどれが最も適切か、図中の A～D の中からひとつ選び、その記号を解答欄 b に書きなさい。

(問題は次ページに続く)

- (c) 同じく図1の地図を参照して、オーストラリア大陸の南東部にマークしたX, Y, Zは、オーストラリアの首都と、同国最大の都市と、同国第2の都市で、大坂なおみ選手が2019年1月に優勝したテニスの全豪オープンやF1グランプリが開催される都市のどれかである。Yの都市名を解答欄cに書きなさい。



図1

注) ミラー図法による。オーストラリア大陸、タスマニア島、ニュージーランド北島、南島以外の島しょ部は省いている。なお、ニュージーランド北島と南島の位置関係はどれも同じである。

- (d) 1989年オーストラリアの提唱で、APECの第一回閣僚会議が開催された。2018年現在、APECには、21の国と地域が参加している。APECの日本語名称を解答欄dに書きなさい。

(e) 下線部 e)に関連して、以下の国の中で、2018 年末時点で、日本とワーキング・ホリデーの協定を締結していない国を次の A～Dの中からひとつ選び、その記号を解答欄 e に書きなさい。

A アメリカ合衆国

B イギリス

C カナダ

D ニュージーランド

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、設問に答えなさい。

ラテンアメリカは、北はメキシコや西インド諸島から南はアルゼンチンおよびチリまで、赤道を挟んで南北に広がる広大な地域である。さまざまな地形に富んでおり、各地で特徴ある鉱業や農牧業を見ることができる。

メキシコ高原、そして南アメリカ大陸の太平洋岸を南北に走るアンデス山脈は、地震や火山活動が活発な環太平洋造山帯の一部を構成している。環太平洋造山帯は、太平洋を取り巻く **サ** 造山帯の総称である。一方で、南アメリカ大陸の東側の大部分は、古生代以降に地殻運動を受けていない **シ** であり、アマゾン盆地やブラジル高原もその上に広がっている。**サ** 造山帯では、銅・銀・亜鉛などの非鉄金属が豊富であり、メキシコ、ペルー、チリなどを有数の産地として挙げることができる。**シ** では、侵食によってもととの地下部分が地表に露出することで、鉄鉱石や石炭の産地となっているところが多い。ブラジルは、イタピラやカラジャス^{a)}など世界有数の鉄山を有し、鉄鉱石が農畜産物と並び主要な輸出品となっている。また、レアメタルである **ス** は、情報化時代に欠かせない電池の原料となるが、チリとアルゼンチンで世界産出量のおよそ半分を占めている。アンデス山脈中の標高3,760メートルに位置する **セ** では、莫大な **ス** が塩の層の下に埋蔵されている。

ラテンアメリカには世界有数の生産量をほこる農畜産物がいくつかある。その1つが、アメリカ合衆国と中国との貿易摩擦の影響により、2018年以降ブラジルから中国への輸出が拡大した **ソ** である。ブラジルの **ソ** 生産は1970年代以降に急増したが、その背景には1973年のアメリカ合衆国による輸出規制があった。当時の日本は、アメリカ合衆国に依存していた輸入先を拡大するため、国際協力としてカンボセラードの開発に参加した。また、コーヒー豆やさとうきび^{b)}の生産量も、ラテンアメリカの世界シェアはおよそ50%であり、肉類の生産も世界有数となっている。一方で、今日では **ソ** 生産や牛の牧畜のために、熱帯雨林が大規模に伐採されることもあり、地球環境への影響が懸念されている。

ラテンアメリカでは高山都市が発展していることも特徴的である。赤道に近い

低緯度の地域でも、標高およそ2,000メートルを超える地域では 帯に近い年平均気温になり、4,000メートル付近では亜寒帯に近づく。低緯度の地域では気温の年較差が小さいので、ラパスや など「常春」と呼ばれる暮らしやすい気候の高山都市が発展した。また、標高の違いは自然環境の多様さを生み出し、古くから 高度帯の特徴を利用した農耕・牧畜 が行われてきた。
c)

問 1 空欄 ～ に当てはまるもっとも適切な語を、解答欄に記入しなさい。

問 2 空欄 に当てはまる、南緯0度15分の赤道直下に位置しながら年平均気温が13℃の、ラテンアメリカにある都市名を、解答欄に記入しなさい。

問 3 下線部 a) について、カラジャスと鉄道で結ばれ、カラジャス産出の鉄鉱石の積み出し港となっている大西洋岸の都市名を、解答欄 に記入しなさい。

問 4 下線部 b) について、コーヒー豆などで生産物に対する正当な報酬が得られない人々や地域に対して、対等なパートナーシップに基づく公正な報酬を支払い、自立することを目指す貿易とは何か、もっとも適切な語を、解答欄 に記入しなさい。

問 5 下線部 c) について、アンデスの高地では、標高差に応じてさまざまな農耕・牧畜が行われている。図 2 中の空欄 に当てはまる、アンデスが原産地の作物を、解答欄に記入しなさい。

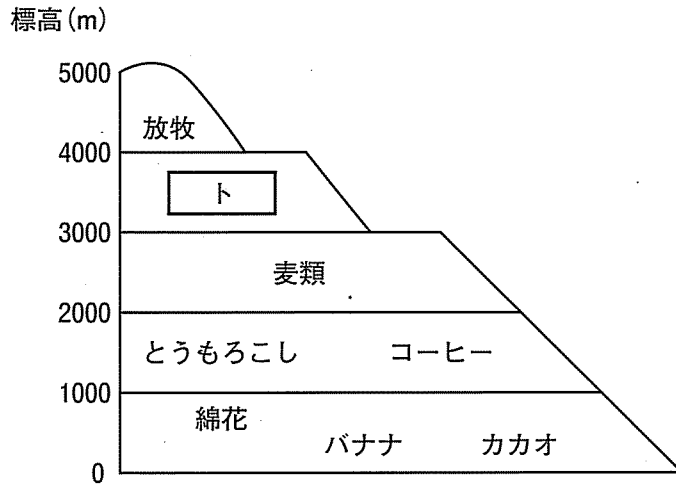


図 2

〔Ⅲ〕 次の設問に答えなさい。

問 1 次の国際機関・国際組織とその本部所在都市(あるいは中央事務局所在都市)の組み合わせとして、誤っているものを次のA～Fの中からひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 東南アジア諸国連合(ASEAN) - シンガポール
- B アフリカ連合(AU) - アディスアベバ
- C 国際復興開発銀行(IBRD) - ワシントンD.C.
- D ユネスコ(UNESCO) - パリ
- E 国際原子力機関(IAEA) - ウィーン
- F 石油輸出国機構(OPEC) - ウィーン

問 2 OECD は、第二次世界大戦後の欧州復興の支援策として、アメリカ合衆国の国務長官マーシャルが提案した、いわゆるマーシャル・プランを契機として設立された OEEC が発展的に改組された組織である。OECD 本部のある都市を次の A～F の中からひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A パリ
- B フランクフルト
- C ベルリン
- D ミラノ
- E ローマ
- F リヨン

問 3 OECD はいわゆる「先進国クラブ」と呼ばれるが、一部の、まだ新興国と呼ばれることもある国も加盟している。2018 年末時点で、OECD に加盟していない国を次の A～E の中からひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A イスラエル
- B オーストラリア
- C 中国
- D トルコ
- E メキシコ

問 4 NATO に加盟していない国を次のA～Eの中からひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A カナダ B ギリシャ C スウェーデン
D トルコ E ベルギー

問 5 スイスのジュネーヴに本部が存在しない国際機関や国際組織を次のA～Dの中からひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A IOC(国際オリンピック委員会)
B UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)
C WHO(世界保健機関)
D WTO(世界貿易機関)

問 6 次のEU加盟国(2018年末時点)のうち、単一通貨ユーロを採用している国を次のA～Eの中からひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A イギリス B スウェーデン C デンマーク
D フィンランド E ブルガリア

問 7 フランスのストラスブールに存在するEUや国際機関を、次のA～Eの中からひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A EU本部 B 欧州議会(通常の本会議場)
C 欧州司法裁判所 D 欧州中央銀行
E 国際司法裁判所

問 8 次の欧州統合に関する文章のうち、下線部が誤っているものを次のA～Eの中からひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 1967年、EEC(欧州経済共同体)を含む3組織を統合して、欧州共同体(EC)が成立した。原加盟国は、イギリス、フランス、西ドイツ、オランダ、ベルギー、ルクセンブルクの6か国であった。
- B 1993年、マーストリヒト条約が発効し、EU(欧州連合)が発足した。
- C 2016年6月23日、イギリスの国民投票においてEU離脱派が勝利し、数年以内のEU離脱が予想される事態となった。これは、BritishあるいはBritainとEUからのEXITを複合させた造語である、BREXIT問題と呼ばれ、世界に波紋を呼んでいる。
- D 1960年にEEC以外の西側ヨーロッパ諸国がEECに対抗するために設立された自由貿易連合であるEFTA(欧州自由貿易連合)は、その後、加盟国が多く抜けたが、2018年末時点でも存続している。
- E トルコは、1987年からEUに加盟申請しているが、加盟交渉は中断が多く、2018年末現在、EUに加盟していない。

(問題は次ページに続く)

問 9 次の表1は、2017年のイギリスの輸出、輸入の貿易相手国(上位5か国)を示している。表1中の空欄X、Y、Zに入る国はオランダ、中国、ドイツのいずれかである。正しい国名の組み合わせを下のA～Fの中からひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

表1

	1位	2位	3位	4位	5位
輸出先国	アメリカ合衆国	X	フランス	Z	アイルランド
輸入元国	X	Y	アメリカ合衆国	Z	フランス

(出所：データブック オブ・ザ・ワールド2019、二宮書店)

	X	Y	Z
A	オランダ	中国	ドイツ
B	オランダ	ドイツ	中国
C	中国	オランダ	ドイツ
D	中国	ドイツ	オランダ
E	ドイツ	オランダ	中国
F	ドイツ	中国	オランダ

問10 次の表2のアメリカ合衆国の貿易相手国(上位4か国)の統計(2017年)において、①②③には、中国、日本、メキシコのいずれかが入る。国名の正しい組み合わせを、下のA～Fの中からひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

表2

	1位	2位	3位	4位
輸出先国	カナダ	①	②	③
輸入元国	②	①	カナダ	③

(出所：データブック オブ・ザ・ワールド2019、二宮書店)

	①	②	③
A	中国	日本	メキシコ
B	中国	メキシコ	日本
C	日本	中国	メキシコ
D	日本	メキシコ	中国
E	メキシコ	中国	日本
F	メキシコ	日本	中国

〔IV〕 次の文章を読み、設問に答えなさい。

世界人口は77億人に達しているといわれるが、人口は地表上に均等に分布しているわけではない。地球の全陸地面積の約 %に人類が居住しており、そのほかは永続的に居住することが困難とされる である。また、今後推測される人口変化の動向にも地域差がある。

^{a)}人口変化について考えるモデルのひとつに人口転換モデルがある。このモデルでは、はじめは 型の人口構造が死亡率の低下とともに 型へと転換し、さらに出生率が低下すると 型の社会へと変化する。今日の日本は少子高齢化社会といわれるが、これは 型の人口構造に転換したからだといえる。

現代日本では合計特殊出生率が人口置換水準 をはるかに下回る水準にある。^{b)}長期的に見込まれる人口減少の傾向や、それにとまなう課題に対する適^{c)}当な対策を検討する必要がある。

問1 空欄 ～ に当てはまる適当な語および数値をA～Fの中からひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

<input type="text" value="ナ"/>	A 10	B 30	C 50
	D 70	E 90	F 100

<input type="text" value="ニ"/>	A アネクメーネ	B エクメーネ	C エルニーニョ
	D コーホート	E トルネード	F フロンティア

<input type="text" value="又"/>	A 1.0	B 1.1	C 2.0
	D 2.1	E 3.0	F 3.1

問 2 下線部 a)に関する文として適当ではないものを次のA～Fの中からひとつ選び、その記号を解答欄 にマークしなさい。

- A アジアが世界人口の 50 %以上を占めている状況が続いている。
- B アフリカ以外の発展途上国の多くでは出生率が低下する傾向にある。
- C 人口爆発などによる世界人口の急激な増加傾向は鈍化に転じてきている。
- D 先進国では出生率が低い傾向にあるが、移民増加による人口対策を図ってきた国もある。
- E 中・南部アフリカにおける人口増加は著しく、今後 50 年間でアジアより多くなる。
- F ロシアや東ヨーロッパの一部では、政治・経済的に不安定な要素が人口停滞の要因になっている。

問 3 ～ の組み合わせとして適当なものを次のA～Fの中からひとつ選び、その記号を解答欄 にマークしなさい。

	い	ろ	は
A	少産少死	多産少死	多産多死
B	少産少死	多産多死	多産少死
C	多産少死	少産少死	多産多死
D	多産少死	多産多死	少産少死
E	多産多死	少産少死	多産少死
F	多産多死	多産少死	少産少死

問 4 下線部 b)について述べた文として適当なものを次の A～Fの中からひとつ選び、その記号を解答欄 にマークしなさい。

- A 現在の若い女性人口が少ない地域では低いため、近いうちにその地域は消滅する。
- B 先進国では高いが、ロシアや中国、ベトナムでは政策によって低くなっている。
- C 戦前の日本では女性の地位が低かったために低かった。
- D 東京などの大都市で高く、地方や農村部では低い傾向がある。
- E ひとりの女性が一生の間に産む子どもの数に相当する。
- F 一般的には、出生数÷総人口で求められる。

問 5 下線部 c)について考えられる対策を述べた文として適当ではないものを次の A～Fの中からひとつ選び、その記号を解答欄 にマークしなさい。

- A 健康な高齢者が働き続けられるように、定年制度を見直し再雇用制度を整備する。
- B 子どもを育てながら働きやすい社会にしていくため、保育サービスを充実させ、育児休業制度を整備する。
- C 社会保障制度を維持するため、納税負担のあり方や出産制限を見直す。
- D 女性が働きやすい社会にしていくため、男女の労働時間短縮などワークライフバランスの課題に継続的に取り組む。
- E リプロダクティブヘルス/ライツを促進する観点からみて様々な施策が適切なものとなるように見直す。
- F 労働力不足を補うため、外国人労働に関する規制を緩和して雇用を拡大する。

問 6 人口と経済活動の関係は単純ではない。次の表 3 はアフリカのいくつかの国の人口密度と GNI/人 を示している。表 3 中の①～③と国名の組み合わせとして適当なものを次の A～F の中からひとつ選び、その記号を解答欄 にマークしなさい。

表 3

	人口密度(人/km ²)	GNI/人(米ドル)
①	630	10,140
②	16	360
③	4	6,820

(地理データファイル 2019, 帝国書院による)

	①	②	③
A	ニジェール共和国	ボツワナ共和国	モーリシャス共和国
B	ニジェール共和国	モーリシャス共和国	ボツワナ共和国
C	モーリシャス共和国	ニジェール共和国	ボツワナ共和国
D	モーリシャス共和国	ボツワナ共和国	ニジェール共和国
E	ボツワナ共和国	ニジェール共和国	モーリシャス共和国
F	ボツワナ共和国	モーリシャス共和国	ニジェール共和国

問 7 次の図3～6は、アジアのいくつかの国の人口構造を表している。図3～5と国名との組み合わせとして適当なものを次ページのA～Fの中からひとつ選び、その記号を解答欄 にマークしなさい。

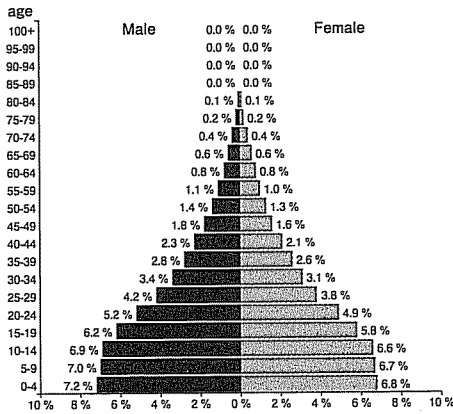


図 3

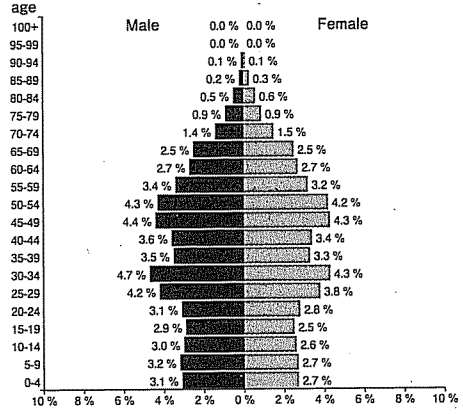


図 4

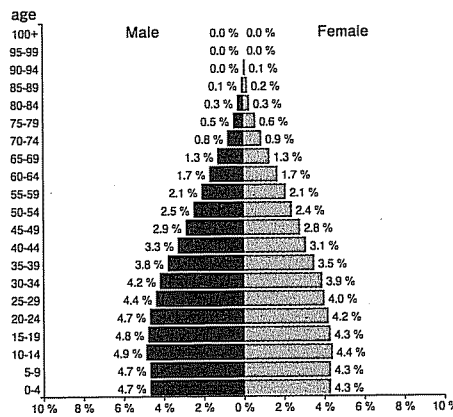


図 5

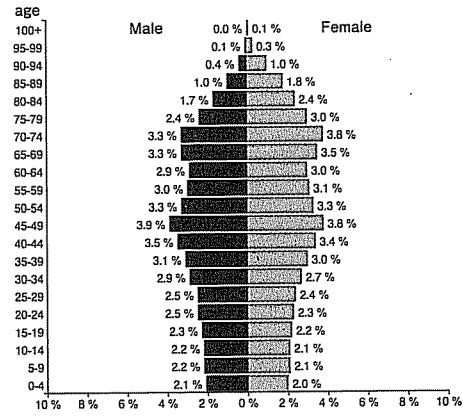


図 6

Population Pyramids <https://www.populationpyramid.net> により作成

	図 3	図 4	図 5
A	アフガニスタン	インド	中国
B	アフガニスタン	中国	インド
C	インド	アフガニスタン	中国
D	インド	中国	アフガニスタン
E	中国	アフガニスタン	インド
F	中国	インド	アフガニスタン

問 8 図 6 のような人口構造の国で起きていることがらを説明した文としてもっとも適当なものを次の A～F の中からひとつ選び、その記号を解答欄

にマークしなさい。

- A 医療や栄養の水準が国際援助によって高くなり、平均寿命が延びている。
- B 医療や衛生面の不備により、乳児死亡率が高い傾向がある。
- C 家族計画が国の政策として強く推進されているために人口構造にゆがみがある。
- D 女性の社会的地位が低く、出産に関する意思決定の権限が制約されている。
- E 生計を支える労働力として子どもが重要であり、老後の生活保障の負担も大きい。
- F 晩婚化や非婚化が進むなど子どもをもたないライフスタイルが広まっている。

〔V〕 次の問いに答えなさい。

北極域の温暖化が地球上のどの地域よりも早く進行していることは以前より注目されているが、北極圏監視評価プログラムは2017年に「2030年代後半には夏の北極海の氷がなくなる可能性がある」という研究結果を発表した。もし北極海の氷がこの予測のように融け去ったら、今後の日本のビジネスに対して、どのような影響が及ぶだろうか。予想されることを解答欄に3行以内で述べなさい。

